

教科名	外国語	科目名	コミュニケーション英語Ⅰ
科目の目標	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力を更に伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
履修学年	第1学年	学科・コース	工業
単位数	3	授業形態	一斉授業
教科書	Revised COMET English Communication I	副教材等	なし
1. 学習の目標	<p>1. 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</p> <p>2. 英語を聞いたり読んだりすることにより、生徒にとって身近な話題や生徒の教養を高める分野に関する情報を得たり、相手が何を考えているのかを理解することができる。</p> <p>3. 基礎的な英語を使って、話したり書いたりする力をつけさせる。これにより、情報を相手に伝えたり自分の考えを伝えたりすることができる。</p> <p>4. 言語や運用についての知識を身につけ、文法力を高めると同時に、背景にある文化を理解することができる。</p>		
2. 学習内容と進め方	<p>英語を読んだり聞いたりして、情報や相手の意向を理解したり、概要や要点をとらえたりする。前述の活動を充実させるために、まとまりのある文章を音読や暗唱をさせたり、英語の音声的な特徴を注意しながら発音したりする。</p>		
3. 学習の留意点	<p>中学校における音声によるコミュニケーション能力を重視した指導を踏まえ、聞くこと及び話すことの活動を多く取り入れながら、読むこと及び書くことを含めた4つの領域の言語活動を総合的、有機的に関連させて指導するものとする。</p>		
4. 学習の評価方法	<p>【第1学期】 単元試験・期末考査の他に、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。 積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうとする努力も評価の観点となる。</p> <p>【第2学期】 定期考査のほかに、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。ディスカッションなどで積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかも評価の観点となる。</p> <p>【第3学期】 定期考査のほかに、課題（提出状況と内容）、授業への意欲、授業中の発言や発表の状況などを加味して評価する。 積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や、標準的な発音で英語を話そうと努力しているかどうかも評価の観点となる。</p> <p>【年間の学習状況の評価方法】 レッスン毎の小テスト・一斉テスト(2回)・定期考査(4回)に加え、授業中の英語学習に対する関心・意欲・態度、英語を理解し表現しようとするコミュニケーションへの姿勢、課題の内容や提出状況、発表活動への取り組み、標準的な発音で英語を話そうとする努力などを、1,2,3学期を通して総合的に評価する。</p>		

5. 年間授業計画		評価のポイント	自己評価
4月	Get Ready! ①～④ ①自己紹介 ② 他己紹介 ③ 好きなキャラクターの紹介 ④ 友だちに質問する 中学校の復習 日付や曜日の言い方、文の要素と品詞の基礎的知識を復習する。 辞書の使い方 英和辞書を実際に使用し、使い方を覚える。	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の文字を確認する。また、発音に慣れる。 ・Classroom English を積極的に使用し、慣れる。 ・発音やアクセントに注意して聞き分けたり、言うてみる。 ・辞書に慣れる。いろいろな単語を調べる。 	Get Ready! 自己評価 A B C
	Lesson 1 Why Do You Study English? <題材> 英語を学習する意義とは — 生徒たちが自分なりの理由を答える。 <機能・表現> 「聞き返す表現」, Pardon? <言語材料> be 動詞・一般動詞 (肯定文)	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークなどのコミュニケーション活動に積極的に参加しようとしている。 ・現在形・過去形の用法を理解している。 ・本文中の代名詞が指す内容について理解できる。 	L.1 自己評価 A B C
5月	Lesson 2 Washoku : Our Traditional Food <題材> ユネスコの無形文化遺産に登録され、世界で注目される「和食」の特徴を紹介 <機能・表現> 人を誘う表現 Why don't we ~ ? <言語材料> 助動詞 (疑問文)	<ul style="list-style-type: none"> ・和食を通じて食に関心を持ち和食の好き嫌いや好きな食べ物について、発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。 ・助動詞の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。 	L.2 自己評価 A B C 単元テスト
	文法のまとめ 1 文の成り立ち / 文の種類 / 時制① (現在形・過去形) / 助動詞	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な文法事項を理解し、自分のことについて表現できる。 	自己評価 A B C
	Activity 1 Read Aloud アクセント位置、文強勢の位置、スラッシュの入れ方の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・音読活動を通して、英語の発音やアクセントに慣れ、使うことができる。 	
6月	Lesson 3 What Should I Do? <題材> 友だちのことばに傷つき、翌日無視してしまったリョウタが、カウンセラーに相談する。 <機能・表現> 人に助言する表現 Why not ~ ? <言語材料> 現在進行形	<ul style="list-style-type: none"> ・男子生徒の悩みの内容に関心を持ち、彼の気持ちや彼へのアドバイスについて積極的に話すことができる。 ・進行形(be 動詞+動詞の～ing 形)を用いて、正しい文を書くことができる。 	L.3 自己評価 A B C 期末テスト
7月	Lesson 4 My School, Your School <題材> 日本の学校と、ニュージーランドやペルーの学校との違いを学ぶ。 <機能・表現> 相手の許可を求める表現 Can I ~ ? <言語材料> 不定詞 (名詞・形容詞・副詞<目的>の用法)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の学校と海外の学校の違いに関心を持ち、自分たちの学校生活について積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。 ・不定詞(to+動詞の原形)の名詞用法/形容詞用法/副詞用法を用いて、正しい文を書くことができる。 	L.4 自己評価 A B C

8月	Lesson 5 Peace, the Polar Bear <題材> 日本で初めてシロクマを人工哺育した高市さんの苦勞を読み取る。 <機能・表現> 人に依頼する表現 Could you ~? <言語材料> 動名詞 (主語・補語・目的語として)	<ul style="list-style-type: none"> ・ピースや高市さんに関心を持ち、身の回りの動物について、積極的に発言しようとしていたり、聞こうとしていたりしている。 ・動名詞の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。 	L.5 自己評価 A B C
	文法のまとめ 2 時制② (進行形) / 不定詞 / 動名詞	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な文法事項を理解し、自分のことについて表現できる。 	自己評価 A B C
9月	Activity 2 My Treasure 自分の宝物について発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・書く活動、話す活動を通して英語運用能力を高める。 	自己評価 A B C
	Reading 1 Let's Try Riddles! <題材> 6問の英語のなぞなぞに挑戦する。 <機能・表現> なぞなぞの答えがわからない場合、他の人に質問したり、ヒントを求めたりすることができる。 <言語材料> It is ~ to...構文	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のなぞなぞに関心を持ち、本文を読んで積極的になぞなぞを解こうとしていたり、他の人の解答を聞こうとしていたりしている。 	自己評価 A B C 中間テスト
10月	Lesson 6 Flying Wheelchairs <題材> 工業高校の生徒たちが修理した車椅子を海外に贈る活動を読み、ボランティア活動の意義を考える。 <機能・表現> 感謝を表す表現 Thank you for ~. <言語材料> 現在完了 (継続・経験・完了)	<ul style="list-style-type: none"> ・「空飛ぶ車いす」の活動について関心を持ち、ボランティア活動について積極的に発言しようとしていたり、聞こうとしていたりしている。 ・現在完了形(have[has]+過去分詞)の基本的な用法(継続/経験/完了)を用いて、正しい文を書くことができる。 	L.6 自己評価 A B C
	Challenge 2 Make Your Own Crossword Puzzle! オリジナルのクロスワード・パズルを作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・書く活動、話す活動を通して英語運用能力を高める。 	自己評価 A B C
11月	Lesson 7 Moving As One <題材> 鳥や魚の群れの動きのルールとその産業界での応用例を理解する。 <機能・表現> 人に謝る表現 I'm sorry I ~. <言語材料> 受け身	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥や魚の群れやその行動ルールが応用される分野について関心を持ち、積極的に発言しようとしていたり、聞こうとしていたりしている。 ・受け身の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。 	L.7 自己評価 A B C
	Lesson 8 Convenience Stores : the Keys to Their Success <題材> 客に買ってもらうためのコンビニエンス・ストアの工夫 <機能・表現> 相手を心配する表現 What's the matter? <言語材料> 現在分詞・過去分詞 (形容詞用法)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンス・ストアの工夫について関心を持ち、普段の買い物について積極的に発言しようとしていたり、聞こうとしていたりしている。 ・分詞(現在分詞/過去分詞)の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。 	L.8 自己評価 A B C 期末テスト
12月	文法のまとめ 3 時制③ (現在完了) / 受け身 / 分詞	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な文法事項を理解し、自分のことについて表現できる。 	自己評価 A B C
	Activity 3 Shopping at a Flea Market フリーマーケットで買い物をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く活動、話す活動を通して英語運用能力を高める。 	

12月	Lesson 9 Malala Yousafzai : Education Can Change the World <題材> 17歳でノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさん。彼女が訴え続けるメッセージとは。 <機能・表現> 相手をほめる表現 I like your ~. <言語材料> 比較	・マララさんの行動・主張や学校教育の意義に関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。 ・比較級の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる。	L.9 自己評価 A B C
1月	Lesson 10 Ando Momofuku : the Father of Instant Noodles <題材> インスタントラーメンを発明した安藤百福さん — 彼のひらめきからカップ麺が誕生するまで <機能・表現> 自分の希望を伝える表現 I'd like to ~. <言語材料> 関係代名詞 (who / which / that)	・安藤氏がカップ麺を開発した経緯や彼の商品開発に対する姿勢について関心を持ち、積極的に発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。 ・関係代名詞の基本的な用法を用いて、正しい文を書くことができる	L.10 自己評価 A B C
2月	文法のまとめ 4 比較 / 関係代名詞 / 関係副詞 / 分詞構文 / 仮定法過去	・基礎的な文法事項を理解し、自分のことについて表現できる。	自己評価 A B C 期末テスト
	Activity 4 Write a Paragraph in English 自分の好きな人・ものについて、まとまりのある文章を書く。	・聞く活動、話す活動を通して英語運用能力を高める。	
3月	Reading 2 Hachiko <題材> 最後まで主人を慕い続けた忠犬ハチ公の物語 <機能・表現> 本文の内容を簡潔にまとめて話すことができる。 <言語材料> 分詞構文・仮定法過去	・英語の手紙文の基本的な構成について知っている。 ・本文を読んで、感想やハチ公に対する気持ちを手紙の形式で書くことができる	自己評価 A B C
確かな学力を身につけさせるための指導の観点		・標準的な発音の英語を十分に聞かせて練習させることで、音声への認識を高めさせる。 ・基礎的な文法事項を確実に身につけさせるために、音声を通して繰り返し練習させる。 ・身近な単語を与え、英文を書いたり、英語で表現したりする基礎的な力を身につけさせる。 ・英語で発表する機会を多く与え、英語でコミュニケーションを図ろうとする意欲を育てる。	
授業を受けるに当たって生徒に守らせた事項		・英語学習の基本的習慣をつける。(辞書の活用、声の大きさ、全員参加型 etc) ・課題や提出物を提出する。 ・恥ずかしがらずに積極的に英語を発音する。 ・自分の意見を積極的に述べるなど、コミュニケーションを図る努力をする。	

6. 評価の観点、内容および評価方法

	評価の観点および内容	観点の評価方法
関心・意欲・態度	・英語に興味・関心を持ち、積極的に授業に参加してコミュニケーションを図ろうと努力しているか。	・学習活動への参加状況と意欲 ・課題等の提出状況とその内容
外国語表現の能力	・自分の意見や事実を英語で表現したり説明したりしようと努力しているか。標準的な発音で英語を話そうと努力しているか。	・スピーチや英作文 ・授業中の発言や活動への取り組み ・プレゼンテーション
外国語理解の能力	・英語を注意して聞いたり読んだりして、相手の考えや文章の内容を理解しようと努力しているか。	・内容理解の程度 ・要約文や感想文 ・英語の音声理解
言語や文化についての知識・理解	・日常生活で多く使われる表現を習得しているか。 ・英文の内容を十分理解し、知識を広げようと努力しているか。	・スピーチやディスカッション、ペアワークなどへの取り組み ・英作文(要約文)の内容